

「日本語指導が必要な子ども」とは誰か —「JSLバンドスケール」を使った言語能力把握の試み—

在住する外国人の増加に伴い、学齢期の外国人児童生徒の数も県内において増えています。そのような外国人児童生徒の日本語学習を支援するにあたり、個々の子どもの能力を“JSL バンドスケール”を用いて適切に把握し効果的に行うことができるよう開発者自らがご説明します。

JSL バンドスケールとは？

「日本語を第一言語としない子どもたち」(JSL 児童生徒)の日本語能力を把握するために開発された「測定基準(ものさし:scales)」で、その「ものさし」は一冊の冊子にまとめられています(「小学校編」と「中学・高校編」があります)。

このバンドスケールは、子どもの日本語能力をきちんと把握し、その言語能力にあった日本語指導を考えるために川上研究室が開発しているものです。

◆公開講座講師 早稲田大学大学院日本語教育研究科

教授 川上 郁雄 氏

プロフィール

1990 年大阪大学大学院文学研究科博士課程単位取得。博士(文学)。オーストラリア・クイーンズランド州教育省日本語教育アドバイザー、宮城教育大学教授を経て現職。専門は日本語教育、文化人類学。著書に『越境する家族—在日ベトナム系住民の生活世界』(明石書店)、などがある。

◆日時 8 月 28 日(日) 13:30~16:30

(講演は2時間程度です。その後、質疑応答、討論などを行います。)

◆会場 県立国際交流プラザ(盛岡市大沢川原 2-4-20 TEL:(019)654-8900)

◆対象・定員 学校関係者、日本語サポーター、日本語教授経験者等 30 名程度

※先着順とさせていただきます。

◆申込方法

封書、FAX または e メールにて、氏名、在住市町村名、所属を下記までお知らせください。

(財)岩手県国際交流協会 〒020-0025 盛岡市大沢川原 2-4-20

TEL 019-654-8900 FAX 019-654-8922 eメール hisanaga@isop.ne.jp 担当:川村まで